



南山大学

南山大学創立50周年記念基金事業

南山エクステンション・カレッジ

公開講演会

「南山だからできる一歩上の学び」を提供する南山エクステンション・カレッジでは、毎年「公開講演会」を開催して、地域社会の生涯学習ニーズにお応えしてきました。皆さまお誘いあわせのうえで参加ください。

日程 2016年3月12日(土)

会場 南山大学名古屋キャンパス

定員 450名

時間 14:00～15:30

R棟1階フラッテンホール

(参加費無料)



演
題

生きがい～夢諦めず、夢高く、夢
いつか頂へ 80歳のエベレスト挑戦～

講
師

プロスキーヤー、冒険家

三浦 雄一郎氏

講演概要:

2013年5月、三浦雄一郎は3度目の世界最高峰エベレスト山(8848m)登頂に成功し、世界最老年齢(80歳)での登頂記録を樹立しました。

70歳(03年)と75歳(08年)。過去に、70歳代で2度のエベレスト登頂を成し遂げましたが、翌09年にスキー場で骨盤と左大腿骨の付け根を骨折する大怪我を負い、76歳からの完全復活は、ほぼありえないと思われました。しかし、エベレストへ向けた強い意志と、山への憧れが驚異的な回復をもたらし、半年後にはトレーニングを再開。2度の不整脈手術を乗り越え、3度目となる80歳での登頂に挑みました。

標高8848メートル、酸素濃度は平地の4分の1。地球上で最も宇宙に近いエベレスト山頂で、80歳の三浦雄一郎の体力年齢は150歳になるともいわれ、山頂を極めるには不整脈の克服のみならず、人類の可能性の扉を開くべく、究極のアンチエイジング(抗加齢)の試みとなりました。そして様々なハードルを越え、遂に2013年5月23日、80歳と7ヶ月にして、エベレストの頂上に辿り着きました。山頂からの第一声は「最高の気分だ。疲れたけど、80歳でもまだまだいける。ありがとう。最高の宝物を授かった」…というもの。

三浦の挑戦の原動力は、飽くなき「好奇心」と夢を追い続ける心でした。

冒険家として若い頃はスピードスキー競技、世界7大陸最高峰からの滑降・など様々な世界記録をうちたてた三浦雄一郎ですが、60歳を境に、身体と心に脂肪がつき、いつのまにか陥っていた「メタボリック症候群」。人生においてリタイアを意識したそのときに、101歳まで大いなる探究心をもってスキーを続けていた父・敬三、そしてオリンピックで活躍していた息子・豪太らの姿を見て再び心にスイッチが入ったのです。サミュエル・ウルマンの「青春」の詩にあるように、<青春>は心の在りようと同時に、「生きがい」を持つことによって身体も若返ることができる。老いは避けられないものではありませんが、人生と向き合い、目標を持つことによって元気に明るく生きる工夫と努力。それぞれの目標<エベレスト>を持つ意義と、家族と人の絆の大切さ、そして新たな挑戦について語ります。

プロフィール

- 1932年 青森市に生まれる。
- 1964年 イタリア・キロメーターランセに日本人として初めて参加、時速172.084キロの当時の世界新記録樹立。
- 1970年 エベレスト・サウスコル8,000m世界最高地点スキー滑降(ギネス認定)を成し遂げる。
- 1985年 世界七大陸最高峰のスキー滑降を完全達成。
- 2003年 次男(豪太)とともにエベレスト登頂、当時の世界最老年齢登頂記録(70歳7ヶ月)樹立。
- 2008年 2度目のエベレスト(8848m)登頂(75歳7ヶ月)。
- 2013年 80歳にて3度目のエベレスト登頂(世界最老年齢登頂記録更新)を果たす。

申込方法

一般の方：往復ハガキでご応募ください。

1枚のハガキで2名まで申し込みます(右記記入例をご覧ください)。

※参加申込時に収集した個人情報は、問い合わせと返信のためにのみ使わせていただきます。これらの目的以外には一切使用しません。

南山大学在学生の方

南山大学ポータルサイト『PORTA』に掲載の開催案内に従い、アンケートからお申し込みください。

申込締切

2016年2月15日(月) 必着

※応募多数の場合は抽選し、参加の可否を2016年3月4日(金)頃までに郵送にて通知します。

ハガキ記入例

往信(表面)	返信(裏面)	返信(表面)	往信(裏面)
☐ 往信 〒466-8673 名古屋市中区山手町18 南山大学 南山エクステンション・カレッジ事務局 公開講演会係	☐ 返信 ※何も書かなくて大丈夫	☐ 返信 郵便番号 代表者の住所 代表者の氏名	☐ 往信 ①参加者の氏名(1名もしくは2名) ②代表者の住所 ③代表者の電話番号 ④代表者の電子メールアドレス

問合せ先

466-8673 名古屋市中区山手町18

南山大学 南山エクステンション・カレッジ事務局

電話 / 052-833-6957 FAX / 052-832-4306

E-mail / extension-s@nanzan-u.ac.jp

http://office.nanzan-u.ac.jp/EXTENSION/

【お願い】駐車場の用意はありませんので、自家用車で来学はお断りします。

公共交通機関でお越しください。



主催 南山大学 南山エクステンション・カレッジ

共催 名古屋市教育委員会